



国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功  
副会長 高杉 治興  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫  
ブリテン 高田 一彦  
担当主事 青木 一弘

### <今月の聖句>

松島美一

「イエス言ひ給う「我は復活なり、生命なり、我を信ずる者は死ぬとも生きん。凡そ生きて我を信ずる者は永遠に死なざるべし。」

(文語訳新約聖書、ヨハネ傳 11章 25節)

### 今月のひとこと

#### 「横浜市で外国籍および外国につながる 中学生の学習支援に参加して」

舟田 正夫



2014年4月からYOKE (横浜市国際交流協会) の「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ」(以下、ラウンジ) で外国籍および外国につながる中学生(以下、中学生)の学習支援に参加し、これで2年が経過しようとしています。週1回火曜日の

17:00~18:30まで、約30名いる学習支援ボランティアの1員です。

ラウンジへ学習に来ている中学生達は両親が仕事を求めて日本へ来た時に一緒に日本へ来ており、滞日年数が短い生徒

でも日常会話は友達との交流ですぐ覚える様です。ただ学校の教科書にある漢字の読み方とその意味、試験問題の読み方とその意味、その他諸々のことが分からないために困って、ラウンジで補習授業を受けていると思われま。

教育委員会が出した資料では、1)横浜市におけるこのような小中学校の児童・生徒は平成27年5月1日現在で8,034人、そのうち日本語指導が必要な児童・生徒は1,538人です。過去の数字と比べると年々これらの数字は増えて来ています。(注:残念ですが、中学生だけの数字はありません。)また、2)横浜市の中学校では平成27年に17校が国際教室を設置して、指導を担当する先生が日本語、教科、生活適応などの指導を行っています。

私が今迄にラウンジで教えた中学生は共進中、平楽中、吉田中、永田中、蒔田中等ですが、圧倒的に共進中の生徒が多く、出身国は中国とフィリピンが多くなっています。この2年間で男子生徒1人、女子生徒1人が高校へ入ることが出来ました。入試合格の朗報は教えるボランティアの喜びにつながります。

このラウンジの役割は、1)一時的な居場所提供であり、中学生は学習のあと楽しくお互いの交流を図っています。また、2)高校入試を控えた生徒に面接対策講座を開き、面接の練習を通して面接への自信を持たせたり、3)大学生を呼んで彼らの日本での体験を聞く場を持ち参考とするなどの試みをしています。最近では、4)篤志家によるパンの提供までやっています。

健康である限りこのささやかな活動をつづけて行きたいと考えています。

## <2016年2月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
20名 (功労 会員1 名を含 む)	メン 14名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 15名	74 % (メーキャップ 名を含む)  前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

## <3月の行事予定>

### BF, メネット

日	曜	時間	行事内容	場所
1	火	17:45	湘南・沖縄部 第2回評議会	中央Y
1	火	19:00	第72回Y-Y協議会	中央Y
5-6	土		次期会長・部役員研修会	東山荘
10	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
24	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

## 「2月第1例会・横浜YMCA会員大会」

古田 和彦

2月11日(土・休)午前10時から午後4時過ぎまで、昨年からの従来会員研修会を会員大会に格上げして湘南とつかYMCAで開催されました。世間ではこの日を祝日(建国記念の日)としていますが、キリスト者たちはこの日が戦前の軍国主義体制の基になっていたことから祝日とは捉えず、平和で共に歩む社会の建設のために学び合う日としています。

10時、1階ホールで開会礼拝。讃美歌451番、聖書朗読、祈り、「横浜YMCA-私たちの使命」を交読し、大会委員長の加藤利榮ワイズの挨拶で始まりました。続いて基調講演。今回は写真家、高橋美香さんによる「パレスチナに生きる人々」と題し、スライド上映とそれに基づく講演を聞きました。イスラエルとの長い争い、そのエスカレートしている現実を写真で示されました。困難な状況にあるパレスチナの人々を世界全体がしっかりと知ることが、その解決策の第1歩だと思われたひと時でした。



会員大会参加者

会員大会は、湘南とつかYMCA全館を使い、1階ロビーに

は「パレスチナに生きる人々」の写真展示、ワイズメンズクラブの紹介コーナー、食事や野菜の販売コーナーなど、2階の教室では、広島ピースキャンプの報告・展示、留学生による国の紹介とゲーム、英語で絵本の読み聞かせ、地球市民ワークショップなど盛り沢山のイベントが行われました。

午後、1階ホールでは、YMCA国際プログラムに参加したユースリーダーの発表、つづきクラブ久保勝昭さん、今城宏子さんによる歌声広場、大久保規矩夫氏による自身の航空兵としての戦争体験に基づく平和メッセージと続けました。最後はゴスペルによる讃美を聞き、4時10分閉会となりました。よい学びの会であり感謝します。

上記の中、昼休み時間12時20分から1時20分の間、404教室にて当クラブの2月第1例会を開催しました。司会は齋藤ワイズ。金子会長の開会点鐘ののち、ワイズソング、ワイズの信条を全員で、古田ワイズによる今月の聖句の朗読と短い解説、

続いてビジネスを行い、行事予定の確認、2月24日開催の第3回日本語スピーチコンテスト準備・参加についての確認、BF使用済み切手を5,800グラム抛出した報告、クラブ次期役員は会長・書記・会計は留任することの承認、クラブ会則および細則検討が1月末から始まっていることの報告、上半期会計報告、天野ワイズの病状報告等がなされました  
出席者：青木、伊藤メン・メネ、今村、大江、大高、押川、金子、古賀、齋藤、高田、田口、成瀬、古田、松島

## 「第3回日本語スピーチコンテスト」

高田 一彦

2月24日13時30分から横浜中央YMCA9階のチャペルにおいて第3回の日本語スピーチコンテストが横浜YMCA学院専門学校日本語学科と横浜ワイズの共催で開催された。金子会長、田口横浜YMCA総主事の挨拶では、共に「本日は世界的いじめ反対運動のピンクシャツデーにあたっているの、差別、偏見をなくす観点より、国際交流の日本語スピーチコンテストが行われるのは意義のある事である」とのメッセージが発せられた。

審査員は、金子会長、大高ワイズの他に、梅本真理子神奈川県青年国際交流機構副会長、山本紀美子YJCサポーター、北田中央YMCA館長の5名であった。

スピーカーは、韓国より3名、台湾より2名、インドネシアより2名、ベトナム、ブルネイより各1名の総勢9人のYMCA日本語学科の生徒で、東京YMCAからも2名の参加があった。スピーチの内容は多岐にわたるものであったが、外国人からの視点や、国際平和に関わる話題と、感銘を深める話題が続出した。



審査員(金子会長・大高ワイズ)と発表者

休憩の後、入賞者の発表が行われ、交流会、表彰式が8階の教室に場所を移して行われた。最優秀賞が「食を通して生きる力を育む」と題してのインドネシアのミロ・クリスティヤンティさんに、優秀賞には「謎解き」と題しての韓国のジ



最優秀賞授与の金子会長

ン・スヨンさんと「3%の塩分」と題しての韓国からのシン・ジへさんへ金子会長から賞状と金一封が授与された。また、神奈川県青年国際機構賞が「勇気」を語った台湾のシャ・イシュンさんに与えられた。次いで、金子会長からの講評や、入賞に際しての感想などが述べられた。

メネットに準備頂いた茶菓をつまみながら、本日の出場者を囲んでの和気あいあいの歓談もアツと言う間に過ぎ、最後に2月24日のピンクシャツデー（世界的いじめ反対運動の記念日）に因んで記念撮影をして幕を閉じた。

この企画は、3年目となったが、YMCA日本語学科のスタッフと横浜クラブと共同で昨年の11月より策定し、本日の開催となったが、今後の継続が期待されている。東京YMCAの学生も東京YMCAのスタッフに付き添われての参加で、つづきクラブよりも6名の参加等幅の広いイベントとなった。

横浜クラブの参加者は、伊藤メネ、大高、金子メン・メネ、神村メン・メネ、高田、田口、舟田の9名。



ピンクシャツデー二因んでの記念撮影

### 「スピーチコンテストの審査を終えて」

大高 治

NHK教育TVで外国人による日本語のスピーチコンテストを以前良く聞いたものでした。時の話題や食べ物などを題材に、日本と自国の特徴を比べる発表に興味をそそられました。今回もそのような捉え方が多いのではなかろうかと推測しておりました。

ところが、自国と日本の比較という発表はありませんでした。題材は多義に渡り、表題から内容の推定は難しく、既成概念では計り難い個性豊かなものでした。自分の成長、家族や周囲への感謝、世界を繋ぐ海の価値等々、アジアの若者は個性を示し、自己主張をされていました。

日常使う語彙やその言葉の流れの中に、国民性を示す何かがあるように感じていました。日本人の丁寧さや穏やかさは、謙譲語や敬語から来ると云う日本語に堪能な外国人教授がおりました。

反面日本語はディベートや自己主張には相応しくない言葉ではないかと思うこともありました。しかし、今回発表された方々は皆、穏やかなトーンの中で、個性を示し自己主張をされていました。21世紀はアジアの時代と言われています。今日のスピーチにその片鱗を見たように思います。

スピーチコンテストの審査は初めての経験です。外国語を話す時、母国語の影響は避けがたいものです。その影響は一定の水準に達すると外国語の上手下手とは関係ないことと思

うようくなりました。よって母国語の影響は極力評価に反映させないように心掛けました。だが母国語の影響をほとんど感じさせない日本語を話された国の方が居たのには驚きました。一生懸命聞き、短時間で評点を付ける作業は楽ではなく、少々疲れを感じました。だがそれは心地良いものでした。

### ＜第2回部評議会＞

伊藤 誠彦

日時：3月1日（火）17：45～18：45

場所：横浜中央YMCA 608号室

定足数を確認後（出席者19名、委任状10通）林部書記の司会、今城部長の議長のもと議事に入った。

第1号議案（2016-17年次期部長選出）：金子会長が次々期部長に選出され、承認された。

第2号議案（2016-17年の部役員選出）：部役員が選出・承認された。（横浜クラブからは大高ワイズが地域奉仕事業主査に選出・承認された）

第3号議案（3月以降の部行事）

－2回目の部長公式訪問について：横浜クラブには度々今城部長にご足労頂いているので訪問の計画は無し

－第4回部役員会の開催：4月23日（土）15：00～17：00、於、横浜中央YMCA

－東日本区代議員会・区大会：各クラブはバナー持参、4月末迄に大会発表用のクラブ活動報告の写真とメッセージを林書記宛に送付のこと

－第3回部評議会の開催：6月18日（土）15：00～17：00、於、横浜中央YMCA、現・新メンバー合同とし、LT研修的要素をプログラムに加える

その他、岡田部会計より各クラブからの献金を2月29日に東日本区へ送金済みと報告あり、因みに、区の目標（約80万円）に対して56%の達成率であったとのこと。

加藤監事より監事講評の一環として、次期監事を選出すべきと指摘があった。

横浜クラブ出席：伊藤、金子

### 「第72回Y-Y's 協議会報告」

金子 功

第72回Y-Y's 協議会が3月1日（火）午後7：00より横浜中央YMCA 501号室で開かれた。今回は横浜クラブが担当。開会礼拝は青木一弘担当主事の司会で行われた。田口総主事並びに、今城湘南・沖縄部部長の挨拶に引き続き、下記の協議・報告事項が金子横浜クラブ会長の司会で進められた。

報告事項として、横浜YMCA側からは：1）横浜YMCA次年度活動・事業方針（田口総主事）、2）YMCA会員大会、3）BAPY基金チャリティーゴルフ、4）国際・地域協力募金の現状、5）YMCAブランディング・プロジェクト集計結果；ワイズ側からは：1）Y-Y's 合同新年会、2）部長沖縄公式訪問、3）第2回湘南・沖縄部評議会、4）各クラブからの報告がなされた。金沢八景クラブより3月中旬に台湾訪問の計画があり、その際、先の台湾南部地震への見舞金を持参するとの報告があったが、田口総主事より横浜YMCAからの支援金もこの訪問団に託すと説明がなされた。

協議事項としては、横浜クラブから、「IYC, AYC等国際会議に参加するユースを如何に発掘し、推薦する体制が構築できるか」について提案され、意見交換が行われた。当日の出席者：ワイズ側；15名、YMCA側6名；横浜クラブ出席者：青木、伊藤、金子、田口、古田

## 第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：2月25日（木）17:00～19:00

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：伊藤、金子、齋藤、高田

協議・確認・報告事項は次の通り。

- ①「台湾南部地震」被災地への支援について、横浜クラブとしての対応（特に何もしない）を確認。
- ②横浜クラブ次期役員候補（副会長、監事、各事業委員）の確認、3月例会にて発表。次期部長から要請のあった地域事業主査には大高ワイズを推薦
- ③一泊研修会の開催予定日、場所について確認  
例年通り「上郷森の家」にて5月連休明けの金・土曜日に開催（13、14日が第一候補）
- ④東日本区大会（6月4、5日、於、長野）への参加申込は2月中旬に各戸配布されているはずの大会案内に基づき各自申込をすることを確認
- ⑤前第二例会に引き続き、齋藤ワイズの指導のもとに、「会則」の改定、及び「クラブ公式記録に関する施行細則（新設）」につき協議



担当主事 青木 一弘

### ● 世界難民緊急支援募金集計とお礼

1月31日まで実施いたしました「ミャンマー洪水緊急支援募金」、「東日本（関東・東北）豪雨災害緊急支援募金」に関しての最終集計報告となりますが、合計の募金合計額は147,770円となりました。今でも、世界各地で難民が発生し、生まれ育った土地を追われています。世界のYMCAでは、各地で受け入れた難民の方々が少しでも安心してその地で生活できるように様々な取り組みを行っております。皆さんからも祈りを続けていただければと思います。

### ● 朝鮮学校「入学おめでとう応援隊2016」参加者募集

朝鮮学校の「入学おめでとう応援隊」参加者募集のご案内をします。昨今、朝鮮学校への様々な脅迫や嫌がらせがあります。川崎ではヘイトスピーチのデモが繰り返しの繰り返し行われており、子どもたちに直接的な被害はないということですが、学校に電話がかかってくることも依然としてあるそうです。日本で生まれ育った子どもたちが安心して通学し、学ぶ機会を持てるよう多くのサポーターが応援に駆けつけてくれることを、子どもたちはもちろん保護者や学校関係者にとっても大きな支えになっていると聞いています。毎年、横浜YMCAからは大勢の方々が参加して下さいます。是非ご協力ください。

<内容>

神奈川県内及び町田の4つの朝鮮初級学校（小学校）で行

われる入学式に合わせ、各学校の入学式会場で「入学おめでとう」の幟（のぼり）を持って、皆でお祝いします。

※詳しくは、国際・地域事業 高村、大塚さんにお問い合わせください。

※応援隊の趣旨や詳細については、ホームページをご覧ください。  
<http://nyugakuomedetououent.wix.com/omedetou>

### ● 世界YMCA同盟「ピース・ボヤージ」（平和の航海）のご案内

世界YMCA同盟による「第2回ピース・ボヤージ」が3月31日～4月8日にNGOピースボートの船を用いて、横浜港－佐世保－済州島（韓国）－広島－横浜港の航路で実施されます。ワイズメンズクラブにとっても、活動紹介のチャンスとしてご活用いただけるかも知れません。アジアを中心に世界のYMCAの仲間と出会い、共に平和について考える場です。ぜひご参加ください。

※ピースボート春ショートクルーズパンフレット

電子パンフレットは以下のリンクからご覧になれます。

<http://pbcrui.se.meclib.jp/2016spring/book/index.html>

※ご不明な点などございましたら、日本YMCA同盟の山根さんまでお問い合わせください。

### 3月例会プログラム

日時：3月10日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

司会：今村ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 …… 金子 会長
  2. ワイズソング・ワイズの信条 …… 全員
  3. 今月の聖句 …… 松島ワイズ
  4. ゲスト・ビジター紹介 …… 金子 会長
  5. 食前感謝 …… 松島ワイズ
  6. 食事
  7. 卓話 「自己紹介と弁護士の仕事概観」  
齋藤 宙也 弁護士
  8. ビジネス・報告 …… 金子 会長
  9. *Happy Birthday* :  
金子久子(3)、古賀智子(3)、金子功(10)、  
遠藤三起子(10)、高田一彦(22)、古田和彦(22)、  
高杉文代(31)
  10. 閉会点鐘 …… 金子 会長
- 例会報告：成瀬ワイズ

### 4月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 045-641-5785